

Date

県内経済 〈8月〉

概況

県内経済は、一部に弱さがみられるが、全体として持ち直しの動きが続いている

機械金属の生産はやや足踏みの動きとなっているものの、電子部品は好調を維持しているほか、木材も増加傾向で推移している。建設は、公共工事が減少傾向で推移しているものの、住宅着工は前年を上回った。個人消費は全体として持ち直しの動きが足踏みしている。雇用情勢は改善の動きがみられる。

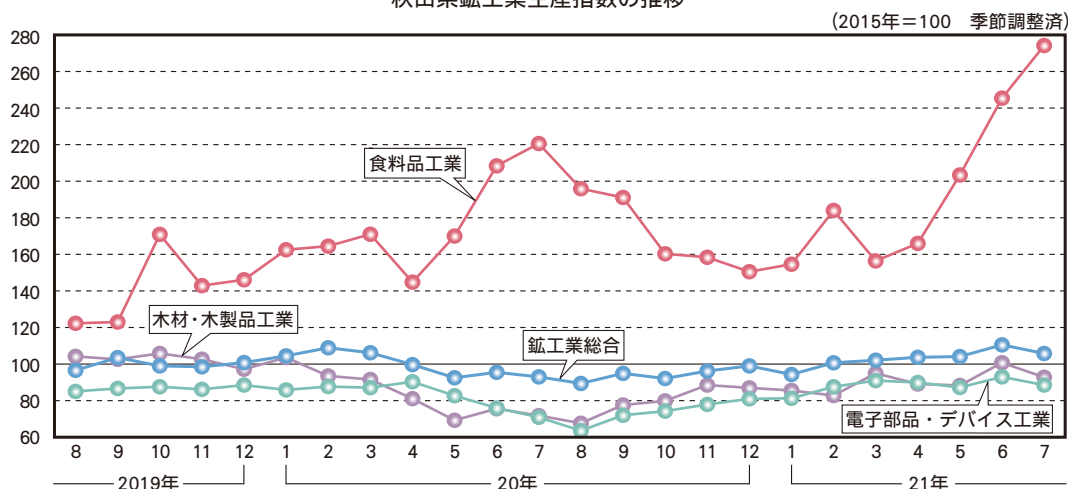
産業別の動向では、電子部品の生産額は、5 G関連製品の需要が堅調に推移しているほか、車載向けも好調を維持し、10か月連続で前年を上回った。機械金属の生産額は、輸送機械で半導体不足などによる減産の影響から、2か月連続で前年を下回った。木材の生産量は、普通合板（7月）が5か月連続で前年を上回ったほか、製材品も2か月ぶりに前年を上回った。公共工事請負額は、5か月連続で前年を下回り、年度累計でも前年を下回っている。地元大手（12社）の建設受注額は、民間工事で大口受注があり、2か月ぶりに前年を上回った。住宅着

工は、2か月連続で前年を上回った。個人消費は、小売店販売額（7月）が3か月ぶりに前年を上回ったものの、新車乗用車販売台数は半導体不足による生産調整の影響から3か月連続で前年を下回り、全体として持ち直しの動きが足踏みしている。

有効求人倍率は前月比0.03ポイント低下の1.59倍となった。新規求人数は前年比18.4%増となり、7か月連続で前年を上回った。事業主都合離職者数は前年比65.0%減となり、5か月連続で前年を下回った。

企業倒産件数は0件であった。件数0件は本年7月に続き、集計史上6度目。

秋田県鉱工業生産指数の推移



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」



電子部品

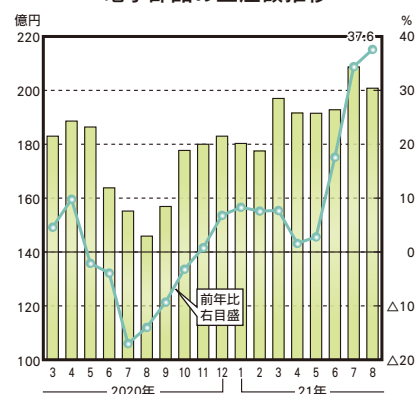
生産額、高水準続く

8月の生産額は前年比37.6%増となり、10か月連続で前年実績を上回った。

大手メーカーの新機種が発売されたスマートフォン向けは増勢を強めており、パソコンやタブレット端末などのその他5G関連の製品も拡大傾向にある。車載向けも電気自動車(EV)向けを中心に好調を維持している。

その他品目別では、主力のセラミック・コンデンサやコイルは増勢が続いているものの、半導体素子は減少傾向にある。産業向け液晶パネルはわずかながら底打ち感がみられるものの、依然低迷を脱し切れていない。

電子部品の生産額推移



(当研究所調べ、県内4社)

機械金属

生産額、2か月連続で前年比減少

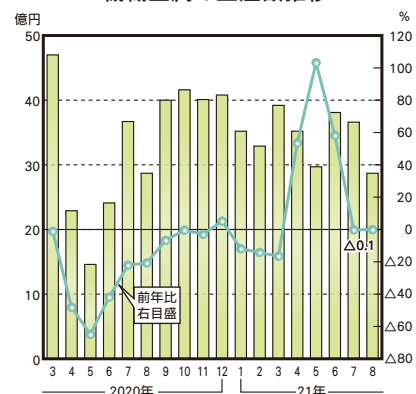
8月の生産額は、前年比0.1%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

ウエイトの高い輸送機械は、半導体不足やコロナ禍による東南アジアからの部品調達の停滞が影響し、一部メーカーで減産が長期化しており、減少傾向にある。

その他民需関連では、製鋼品は回復の兆しがみられるものの、建機部品は大幅減に歯止めがかかっていない。金型は一進一退の動きとなっている。

公共工事関連では、水道部品は堅調に推移しているものの、橋梁・鉄骨は減少が続いている。

機械金属の生産額推移



(当研究所調べ、県内8社)

木材業

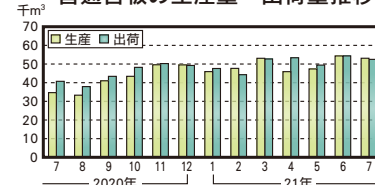
普通合板、製材品とも出荷増続く

全国的に、新設住宅着工戸数が回復基調にある中、秋需期を前にして、輸入材の入荷量減少と価格急騰（ウッドショック）の影響により木材需給は逼迫感を増しており、本県でも普通合板、製材品とも引き続き出荷増が続いている。

7月の普通合板は、生産量が前年比53.2%増と5か月連続で増加し、出荷量も同28.9%増と6か月連続で前年を上回った。在庫量は、同56.6%減と12か月連続で減少した。

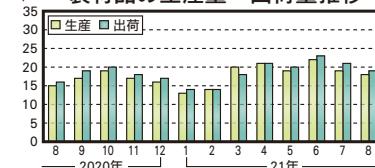
8月の製材品は、生産量が前年比20.0%増と2か月ぶりに増加し、出荷量も同18.8%増と5か月連続で前年を上回った。在庫量は同13.4%減と6か月連続で前年を下回った。

普通合板の生産量・出荷量推移



資料：秋田県農林水産部林業木材産業課

製材品の生産量・出荷量推移

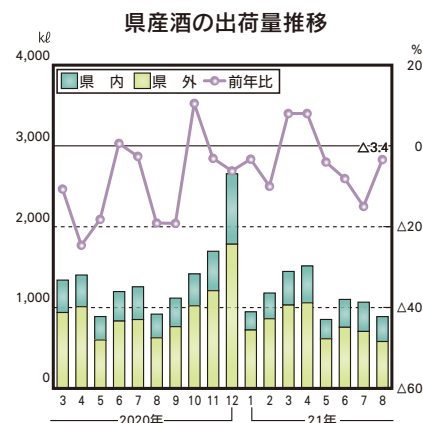


資料：農林水産省「製材統計」

酒 造 業

出荷量、前年比減少幅が縮小

8月の清酒出荷量は、前年比3.4%減と4か月連続で前年を下回った。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の対象地域を中心に業務用市場が低迷しているものの、前年に大きく落ち込んだ反動から、前年比減少幅は前月よりも縮小した。出荷先別では、県内向けが同4.9%増と増加した一方で、県外向けは同7.3%減と減少した。県外の主な出荷先別では、北海道が同7.4%減、東北5県は同0.7%減、東京も同10.2%減と、いずれも前年を下回った。種類別では、普通酒が同2.1%減、特定名称酒も同4.6%減となった。特定名称酒の内訳では、純米酒は増加したが、吟醸酒と本醸造酒が減少した。



資料：秋田県酒造組合

建 設 業

公共工事 県と市町村が減少し、5か月連続で前年比減少

8月の公共工事請負金額は、国等が増加したものの、県と市町村が減少し、前年比7.1%減と5か月連続で前年を下回った。4月からの年度累計実績は前年同期比12.2%減となり、前月よりマイナス幅は小幅縮小した。

一方、当研究所調査による地元大手12社の8月の新規受注額は、前年比61.7%増の3,536百万円となり、2か月ぶりに前年を上回った。うち官公庁工事は同18.6%減となったが、民間工事は産業用機械製造業の工場増築等の大口受注があり、同1,175.5%増と前年を大幅に上回った。4月からの年度累計実績は前年同期比44.5%増となった。

公共工事前払金保証実績

(単位：件、百万円、%)

区 分	8月	前年比	4月～8月	前年同期比
件 数	310	8.8	1,513	0.7
請負金額	12,023	△7.1	83,512	△12.2

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

地元大手企業12社受注額

(単位：百万円、%)

区 分	8月	前年比	4月～8月	前年同期比
官 公 庁	1,661	△18.6	9,147	△2.3
民 間	1,875	1,175.5	7,453	250.9
合 計	3,536	61.7	16,600	44.5

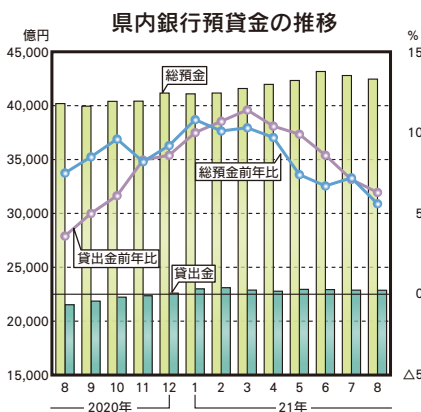
(当研究所調べ、県内12社)

金 融

預金、貸出金とも前年比増加率は鈍化傾向

8月末の県内銀行の預金は、前月末比333億円減少したものの、前年比では5.6%の増加となった。貸出金も、前月末比9億円減少した反面、前年比では6.3%の増加となった。預金は前年に急伸した反動から、貸出金はコロナ対策の制度融資など資金需要が一服し、ともに伸び率は鈍化傾向にある。

8月の倒産件数（負債総額1千万円以上）は0件（前年比6件減）、負債総額は0円（同100.0%減）となった。1971年の集計開始以降では、2018年10月、2020年5月、2021年1月、同年2月、同年7月に続いて6度目の倒産発生ゼロとなった。



資料：秋田県銀行協会



住宅着工

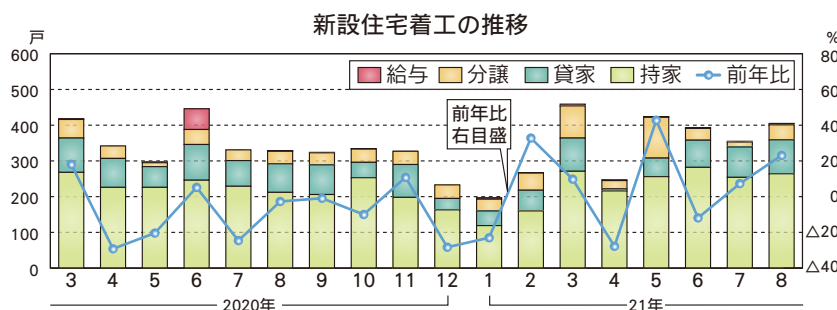
着工戸数、2か月連続で前年比増加

8月の県内新設住宅着工戸数は、405戸（前年比76戸増、23.1%増）であった。主力の持家のほか、貸家、分譲住宅、給与住宅のすべてが増加し、2か月連続で前年を上回った。

利用関係別では、持家が264戸（前年比52戸増）、貸家が95戸（同15戸増）、分譲住宅42戸（同7戸増）、給与住宅4戸（同2戸増）となった。

持家は、4か月連続で前年を上回った。貸家は、横手市で大幅に増加したほか、山本地域、北秋田地域、秋田市でも増加し、2か月連続で前年を上回った。分譲住宅は、3か月ぶりに前年を上回った。

地域別では、県央は持家と分譲住宅、県南は貸家、分譲住宅、給与住宅の着工が各々増加し、前年を上回った。県北は貸家と分譲住宅の着工が減少し、前年を下回った。



住宅着工動向 (単位：戸、%)

区分	2021年8月	前年比	21年1～8月	前年比
県北	60	△13.0	471	△14.8
県央	211	24.1	1,649	15.1
県南	134	48.9	627	△1.1
合計	405	23.1	2,747	4.8

資料：秋田県建築住宅課

個人消費

全体として持ち直しの動きが足踏みしている

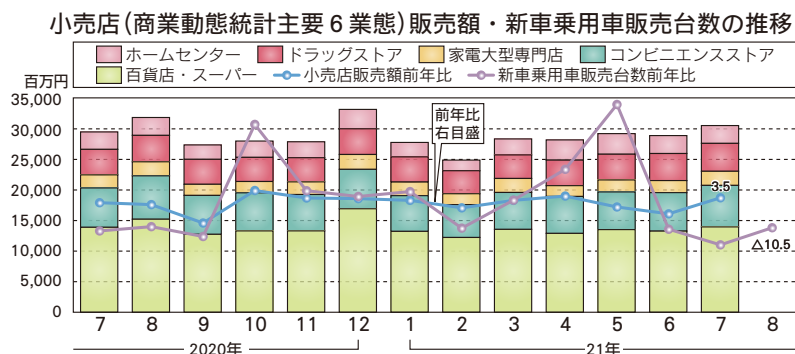
7月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、前年比3.5%増となり、3か月ぶりに前年を上回った。

内訳をみると、ドラッグストア（同9.5%増）、家電大型専門店（同7.7%増）、コンビニエンスストア（同5.5%増）、ホームセンター（同2.3%増）、百貨店・スーパー（同0.5%増）とすべての業態で前

年を上回った。

8月の新車乗用車販売台数は、半導体不足による生産調整の影響を受け、前年比10.5%減と、3か月連続で前年を下回った。

内訳をみると、登録車が同4.7%減、軽乗用車も同18.2%減と、いずれも3か月連続で前年を下回った。



8月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	2,156	△10.5
登録車	1,312	△4.7
普通車	631	6.1
小型車	619	△14.5
輸入車	62	6.9
軽乗用車	844	△18.2

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標（前年比）(単位：%)

区分	5月	6月	7月
①消費者物価指数	△0.3	△0.3	0.2
②勤労者名目賃金	6.9	13.8	2.2

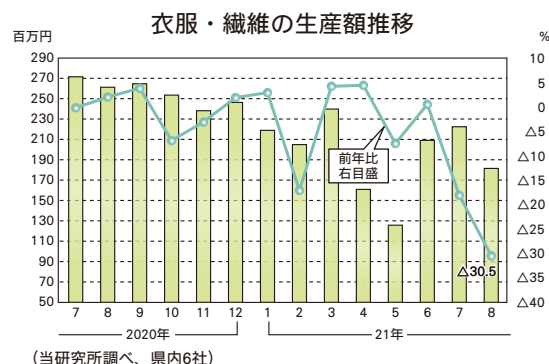
資料：①秋田県（総合指数、秋田市）
②秋田県（事業所規模5人以上）

衣服・繊維

生産額、2か月連続で前年比減少

8月の生産額は、前年比30.5%減となった。新型コロナウイルス感染症拡大にともなう緊急事態宣言発出による百貨店休業等の影響から、2か月連続で前年を下回った。

受注は、秋冬物のロット減少や百貨店休業等による在庫の高止まりの影響から、前年を下回った。



雇 用

有効求人倍率、前月比0.03ポイント低下の1.59倍

8月の有効求人倍率(季調値)は、前月比0.03ポイント低下の1.59倍となった。常用の内訳では、一般は同0.02ポイント上昇の1.56倍、パートは同0.05ポイント上昇の1.35倍となった。

新規求人数は前年比18.4%増となり、7か月連続で前年を上回った。産業別にみると、製造業は同58.7%増となった。「情報通信機械」で減少したものの、受注が増加傾向にある「電気機械器具」、「電子部品・デバイス・電子回路」、「木材・木製品」で大幅に増加したほか、その他の業種でも二桁の増加率となった。非製造業は同14.8%増

となった。新型コロナワクチン接種の予約受付業務などを行う派遣求人を含む「サービス」で大幅に増加したほか、その他の業種でもすべて前年を上回った。

新規求職者数は前年比0.3%増と、4か月ぶりに前年を上回った。

事業主都合離職者数は前年比65.0%減と、5か月連続で前年を下回った。

地域別雇用状況(パートを含む常用)をみると、新規求人数は県北、県央、県南でいずれも増加した。有効求人倍率は県北が最も高く1.67倍、県央が1.44倍、県南が1.43倍となった。

業種別・新規求人内訳および新規求職者数(全数)

(単位:人、%)

区 分	2021年7月	前年比	8月	前年比
新規求人計	8,980	23.1	8,309	18.4
製造業	895	43.4	908	58.7
食料品	146	△11.0	154	57.1
繊維	155	38.4	140	20.7
木材・木製品	51	59.4	39	116.7
電子部品・デバイス・電子回路	154	242.2	169	134.7
電気機械器具	47	113.6	68	240.0
情報通信機械	18	-	5	△61.5
非製造業	8,085	21.3	7,401	14.8
建設	1,254	18.4	1,111	18.8
情報通信	83	25.8	47	9.3
運輸、郵便	401	13.9	386	21.8
卸売、小売	1,536	21.5	1,455	16.0
宿泊、飲食サービス	558	△4.1	638	9.1
生活関連サービス、娯楽	261	31.2	262	57.8
医療、福祉	1,724	7.5	1,605	6.4
サービス	1,323	64.6	908	45.3
新規求職者数	3,090	△10.0	3,206	0.3
有効求職者数	15,477	△3.5	15,017	△5.3

資料:秋田労働局職業安定課
(注)臨時・季節を含む

有効求人倍率および事業主都合離職者数

(単位:倍、人、%)

区 分	2021年5月	6月	7月	8月
有効求人倍率	1.36	1.43	1.54	1.56
パートタイム	1.07	1.14	1.30	1.35
全数(季調値)	1.48	1.50	1.62	1.59
事業主都合離職者数	138	141	257	128
前年比	△61.2	△65.5	△24.2	△65.0

8月の地域別雇用状況(パートを含む常用)

(単位:人、%、倍、ポイント)

区 分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比		前月比	
県北	1,721	5.5	1.67	△0.01
県央	3,766	10.4	1.44	0.02
県南	1,894	39.9	1.43	0.10
合 計	7,381	15.4	1.48	0.03

(注)臨時・季節を除く